

平成27年度第1回青森市健康福祉審議会地域保健専門分科会 会議概要

開催日時：平成28年2月9日（火） 午後1時～午後2時50分

開催場所：青森市保健所（元気プラザ）1F 会議室

出席委員：嶋中繁樹委員、成田祥耕委員、成田崇信委員、成田憲雄委員、
三浦祐一委員、村松薫委員 《計6名》

欠席委員：なし

事務局：青森市保健所長 野村由美子、
健康福祉部理事青森市保健所副所長事務取扱 今村貴宏、
保健予防課長 田中聡子、生活衛生課長 工藤猛、
健康福祉部参事健康づくり推進課長事務取扱 山口朋子、
浪岡事務所健康福祉課長 加福拓志、
健康づくり推進課副参事兼健康支援室長 小形麻理、
健康づくり推進課副参事 樋口正美、
保健予防課主幹 徳差弘子、保健予防課主幹 窪田豊治、
保健予防課主幹 田中菜穂子、生活衛生課主幹 古川真人、
生活衛生課主幹 渡邊和子、健康づくり推進課主幹 鈴木久美子、
保健予防課主査 長谷川治、保健予防課主査 中村健、
保健予防課主査 山口陽子、健康づくり推進課主査 野村早苗、
健康づくり推進課主査 樋口量美 《計19名》

会議次第

- 1 開会
- 2 青森市保健所長あいさつ
- 3 組織会
(1) 分科会長の選出
(2) 分科会長職務代理者の指名
- 4 案件
(1) 平成27年度青森市保健所の主な事業の進捗状況について
(2) まちなか保健室について
(3) 元気都市あおもり健康づくり推進計画の進捗状況について
(4) 平成28年度青森市食品衛生監視指導計画（案）について
- 5 その他
- 6 閉会

議事概要

3 組織会（1）分科会長の選出

嶋中委員を推薦する者があり、全委員異議なく全会一致で、嶋中委員が分科会長に選出された。

分科会長 嶋中繁樹委員（一般社団法人青森市歯科医師会 会長）

組織会（２）分科会長職務代理者の指名

嶋中分科会長から、村松委員が分科会長職務代理者に指名された。

分科会長職務代理者 村松薫委員（一般社団法人青森市薬剤師会 会長）

4 案件（１）平成 27 年度青森市保健所の主な事業の進捗状況について

事務局（保健予防課長、生活衛生課長、健康づくり推進課副参事）から資料 1 に沿って説明があった。

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

○各種がん検診事業について、前立腺がんの受診者数が少なく、知れ渡っていないと感じるがどうか。

・(事務局) 前立腺がん検診は平成 27 年 9 月から開始したものであり、これから十分周知に努めていきたい。

○犬・猫等引取収容事業について、犬猫の里親制度に関してどういう取組をしているのか。

・(事務局) HP や広報あおもりを活用し犬猫の情報を掲示し里親を募集している。いろんな方から問合せがくるものの、犬の性格等でマッチングがうまくいかない状況もあり実績として犬の里親探し成立数はゼロ件である。平成 27 年 8 月から開始したものであり、今後も制度を周知していきたい。

○食中毒調査処理事業について、食中毒疑いの通報が 23 件に対し、発生が 2 件ということであるが、21 件はどういうものか。

・(事務局) 医療機関や個人から情報が寄せられ、症状の検証や検便検査、施設の検査など化学的根拠に基づいて、原因が食品であると特定することが出来なかったことから、食中毒と断定しなかったものである。

○健康づくり応援店推進事業について、応援店の登録だけでなく、のぼりをあげるなど店側のメリットを考えなければならないと思う。

・(事務局) 健康食の提供を率先してやっているお店ということでステッカー配付や HP 等での周知を行っている。今のところ、のぼりの作成は考えていないが、貴重な意見として受け止めたい。

案件（２）まちなか保健室について

事務局（健康づくり推進課長）から資料 2 に沿って説明があった。

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

○人員配置のシフトについて、常勤 1 名とのことだが、休日には配置人数を増やすといった予定はあるのか。

・(事務局)今のところ、休日は何人という固定化は考えていない。状況をみながら対応していきたい。

○来場者数はどれくらいを想定しているか。

・(事務局) 青森県看護協会がゆ～さ浅虫で実施しているまちなか保健室という相談事業の実績が 1 日 40 名程度と聞いており、それをベースに考えているところである。

案件（3）元気都市あおもり健康づくり推進計画の進捗状況について
事務局（健康づくり推進課長）から資料3に沿って説明があった。

質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

- 短命県である要因は何か。それが、がんなのであれば、がん検診の受診率が低いことに起因するのか。また、受診率は受診すべき方に対する割合か。検診受診率の目標値と精密検査の目標値はどういう設定か。
 - ・(事務局)死亡者の6割が生活習慣病によるものであり、生活習慣病の中でもがんが第1位となっている。がん検診受診率が低いことも一つの要因になっていると考える。検診受診率については、対象年齢に達している者に対して受診した方の割合であり、目標値は国の目標値に合わせたものである。精密検査受診率については、がん検診を受けた方の中で精密検査が必要との結果が出た者に対して検査を受けた方の割合であり、確実に精密検査をして治療につなげてほしいという思いから100%の目標値としたものである。

- 未成年者の喫煙者の割合で H27 実績として男子は「0 人」とあるが、データの根拠はなにか。データの取り方については今後検討しても良いのではないか。
 - ・(事務局)喫煙の割合については、市民意識調査のデータを使用したものであり、対象者が少ないうえに回答者がいなかったことによる「0 人」である。数字として非常に少ないので評価しにくいところではある。

- 健康づくりサポーターの数が H26 と H27 が 120 人で同じだが、増えなかったということか。また、健康づくりサポーターの方々が実際にこういう活動をやっているといった「質」の評価を、次回以降示してもらいたい。
 - ・(事務局)平成 27 年 12 月末時点では 120 人だが、平成 28 年 1 月に開催したサポーター育成研修会では 58 名受講しているので、最終的には増加する予定である。

案件（4）平成 28 年度青森市食品衛生監視指導計画（案）について
事務局（生活衛生課長）から資料4に沿って説明があった。

質疑応答

- ・意見等なし

その他

- ・事務局から予防接種健康被害救済制度に基づく医療手当の給付申請に係る審査結果について報告があった。